

FDCは、尾張繊維技術センター、愛知県立一宮養護学校、及び地元企業と共同で、車いすで生活する子ども達のための衣服開発に取り組んでいます。

愛知県立一宮養護学校 第36回文化祭(平成25年11月8日(金)～9日(土))  
「みんなプロジェクト」コーナーで展示発表されました。

愛知県立一宮養護学校さんのコメント

「着やすくてかわいい服が着たい」という子供たちの夢を形にし、社会参加への一助にしようと始まったこの取組も今年で6年目を迎えました。

地域の方々の御協力により、肢体に障害のある子供たちのニーズに合った布地やデザインの「楽しくスタイル」衣服や小物が毎年できあがり、子供たちが学校や家庭で活用させていただいています。

今後も地域の方々と手を携えながら「みんなプロジェクト」の取組みを継続することによって、ユニバーサル・ファッションへの理解が広がり、障害のある子供たちが、おしゃれで着心地のいい服を着て積極的に街に出かけていける、それが当たり前になる日が来たら素晴らしいと思います。

(展示の様子)

